

部会(調査研究会)の当日受付処理について

01/12/04

1. 部会の場合は通常それほど参加者と参加費が多くないので、当日参加費を徴収してください。
 2. 現金と引き換えに「配布資料」、「領収書」を参加者へお渡しください。
 3. 参加費または資料代徴収対象者につきましては、原則は以下の【部会企画行事分類表】のとおりですが、最終的には運営委員にお任せいたしますので、収入支出の状況をお含みおきのうえ、決定してください。
 4. 参加費等で徴収した現金は、同封の「払込取扱票」を利用して学会へ送金してください。その際には通信欄に明細を書いてお振込みください。郵便局からですと手数料はかかりません。なお、アルバイト代等当日支払が発生した場合、徴収した現金を使っただいて結構です。但し、通信欄に明細を記入すること・領収書を事務局へ郵送することを忘れずに行ってください。
 5. (招待)講演者への謝礼や交通費は講演会終了後、事務局より直接講演者へお振込いたします。当日お渡しする場合は、税金を10%差し引かなくてはなりませんので、ご相談下さい。
 6. 会場費・懇親会食事代等の支払いは、できるだけ請求書を「(社)計測自動制御学会宛」に出してもらうようにしてください。お立替えいただいた場合、**終了報告書**、**立替払い申請書**に**領収書**を添付して、事務局へお送りください。
 7. 当日必要な領収書等は、会場または担当委員へお送りいたします。修了後は、事務局宛郵パック着払いでご返却くだされば結構です。
- 以上です。何かございましたらおたずねください。

部会企画行事分類

制定：1997年6月19日
 社団法人 計測自動制御学会
 部会・研究会委員会 作成

	部会 講演会・講義会等	研究会	見学会	シンポジウム (公開討論会)	講習会
概要	依頼講演で謝礼等を差し上げる企画行事	発表募集をして応募者による講演会・ミニシンポジウム	研究所・企業等の見学をする企画行事	発表募集をして応募者による講演会・研究会を大きくしたもの	依頼講演による講習会
参加費 資料代	講演者・運営委員は無料	原則として発表者・連名者・参加者・司会者・運営委員は有料		原則として発表者・連名者・参加者・司会者・運営委員は有料、依頼講演者は無料	参加者のみ有料
会誌掲載	プログラム1回	募集1回 プログラム1回	プログラム1回	募集1回 プログラム1回	簡単なもの2回、詳しいもの1回
備考	参加費無料(資料代のみいただくのが原則)	謝礼・発表申込金なし 参加費無料(資料代のみいただくのが原則)		発表者全員が依頼の場合もある	講習会のみ原稿料をお支払いする
経費	学会からの補助金を使用	学会からの補助金を使用	学会からの補助金を使用	収支バランス(収益還元)	収支バランス(収益還元)

制定：1997年6月19日

社団法人 計測自動制御学会
部会・研究会委員会作成

年 月 日

計測自動制御学会 部門担当 殿

部会名 _____
担当者 _____ 印
電話番号 _____
E-mail _____

立替払い申請書

過日開催されました当部会行事につきまして、以下を立替えいたしましたので送金願います。

行事名： _____
開催期日： _____
開催場所： _____

内訳および金額： _____ (¥ _____)
_____ (¥ _____)
_____ (¥ _____)
_____ (¥ _____)
_____ (¥ _____)
_____ (¥ _____)

合計金額： ¥ _____
振込先： 銀行名 _____
支店名 _____
預金の種類（普通・当座） _____
口座番号 _____
名義（フリガナ） _____

領収書を添付。

シンポジウム・部会行事が終了しましたら、必ず提出して下さい。

年 月 日

計測自動制御学会 部門担当 殿

部会名 _____
担当者 _____ 印
電話番号 _____
E-mail _____

終了報告書

過日開催されました，下記行事につきまして，報告します。

行事名： _____

開催期日： _____

開催場所 _____

参加人数：会員 _____ 会員外 _____

学生会員 _____ 学生会員外 _____

当日扱った現金の収支内訳および金額：収入 (¥ _____)

_____ (¥ _____)

_____ (¥ _____)

収入合計 (¥ _____)

支出 (¥ _____)

_____ (¥ _____)

_____ (¥ _____)

_____ (¥ _____)

_____ (¥ _____)

支出合計 (¥ _____)

収支差額金額： ¥ _____

領収書を添付。

平成 13 年 月 日

領収証

社団法人 計測自動制御学会 殿

¥ , 円

但 第 24 回システム工学部会部会研究会
講演料 , 円の内税金 10% 差し引き済み
上記正に領収いたしました

サイン又は捺印

お名前 _____

ご住所 _____

平成 13 年 月 日

領収証

社団法人 計測自動制御学会 殿

¥ , 円

但 第 24 回システム工学部会部会研究会
旅費 (~ 間)
上記正に領収いたしました

サイン又は捺印

お名前 _____

ご住所 _____

領収証の書き方について

講演料，原稿料には税金が10%かかりますので，領収証の金額は税金を差し引いた額をご記載ください。

(例えば)講演料12,000円の場合

税金は， $12,000 \times 10\% = 1,200$ 円 となります。

お渡しする金額(領収証の金額)は，

$12,000 - 1,200 = 10,800$ 円 となります。

なお，税金1,200円は後日事務局よりお支払いいたしますので，10,800円をお立替え下さい。

講演者の方には必ずご住所までご記入いただいでください。納税の際に必要となります。

旅費，アルバイト代には，税金はかかりません。

<<サンプル>>

平成13年8月8日

領収証

社団法人 計測自動制御学会 殿

¥10,800円

但 第29回離散事象システム部会研究会

講演料12,000円の内税金10%差し引き済み

上記正に領収いたしました

サイン又は捺印

計測

お名前 計測 太郎

ご住所 〒113-0033 文京区本郷 1-35-28-303

平成 13 年 月 日

領収証

社団法人 計測自動制御学会 殿

¥ , 円

但 第 24 回システム工学部会研究会
アルバイト代(日@ , 円)
上記正に領収いたしました

サイン又は捺印

お名前 _____

ご住所 _____

平成 13 年 月 日

領収証

社団法人 計測自動制御学会 殿

¥ , 円

但 第 24 回システム工学部会研究会
アルバイト代(日@ , 円)
上記正に領収いたしました

サイン又は捺印

お名前 _____

ご住所 _____
